

<特集> 日本酒と本

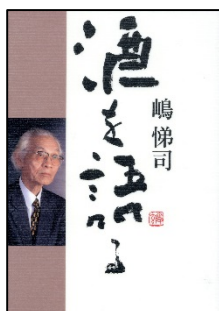
酒どころ長岡は全国に誇れる蔵元が数多くあり、各社自慢の一品が集う酒の陣も開催されます。男性だけでなく女性も魅了する日本酒。その魅力は一体どんなところにあるのか、様々な視点でご紹介します。

秋の夜長に日本酒を味わいながら、ぜひご覧ください。



『嶋悌司 酒を語る』

嶋 悌司／著
朝日酒造



長岡市朝日にある朝日酒造の銘酒「久保田」。その「久保田」を世に送り出した著者、嶋悌司氏が自らの人生を振り返り、酒造りに対する熱い想いを語っています。新潟の酒の発展を願い、飲み手の「心」、そして造り手の「心」にこだわってきた著者だからこそその力強いメッセージがうかがえます。 (C. Y)

『北陸日本酒ほろ酔い紀行』

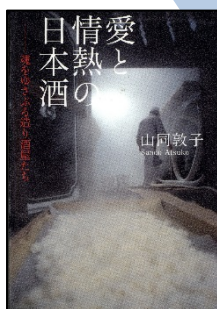
イースト・プレス／編
イースト・プレス



新潟を含む北陸4県の日本酒を紹介した一冊。各県の代表銘酒のほか、肴や酒器、日本酒に関係した観光スポットなど様々な内容を紹介しています。家での晩酌から、日本酒めぐりの旅行まで幅広く読むことができます。ぜひご覧ください。 (K. O)

『愛と情熱の日本酒』

山同 敦子／著
ダイヤモンド社



試行錯誤を繰り返しながら「旨い!」と言われる日本酒を追求する、造り手の努力と情熱に触れてみませんか。全国100ヶ所以上の蔵元を取材した著者が語る、日本酒の巧みな味と香りの表現が魅力的な一冊。日本酒の味がより一層深まることうけあいです。 (S. K)

『天下、なんぼや。』

吉川 永青／著
幻冬舎



酒造で身を興し、後に豪商とまで言われるようになった男、鴻池新六の生涯をモデルに描かれた波乱万丈の物語です。 (ここのいけしんろく)

戦、清酒誕生、家康との出会い…。ことあるごとに頭をひねり、先を読み、そして時には考えを改め、やがて見出した“人を生かす商売”とは…？ (M. K)

中央図書館の外部データベース

長岡市立中央図書館では、各種データベースの利用サービスを行っております。
このたび新しく2種類が追加され、8種類となりました。調査の参考にぜひご活用ください。

●中央図書館で利用可能なデータベース

聞蔵IIビジュアル ・ ・ 朝日新聞・週刊朝日・知恵蔵・アサヒグラフ

日経テレコン21 ・ ・ 日経4紙・企業検索・人事検索

新潟日報記事データベース ・ ・ 新潟日報

D1-Law.com 法情報総合データベース ・ ・ 判例、法律、文献情報

官報情報検索サービス ・ ・ 官報

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス ・ ・ 国会図書館所蔵資料

(長岡市立図書館の貸出カードが必要です)

NEW ジャパンナレッジLib

日本有数の百科事典や辞書類が持つ膨大な知識情報を収録。言葉の事典や専門辞書、叢書まで、50種類以上の事典類からあらゆる項目の一括検索ができます。

コンテンツは継続的に追加されるので、新しい言葉を調べるときにも役立ちます。

例えば・ ・

「^{よろい}鎧」を数えるときの単位、ご存じですか？

「神対応」の意味、ご存じですか？ 対義語は、何だと思いませんか？



NEW 日経 BP 記事検索サービス

日経 BP 社が発行する雑誌、25誌をデータ化。バックナンバーを含め、ビジネス・IT・医療・ライフスタイルなど欲しい情報を手軽に閲覧・活用することができます。「趣味・ライフスタイル」などの雑誌は発行日から1週間後、その他の雑誌は発行日当日に公開されます。

例えば・ ・ 図書館で所蔵していない雑誌記事からも情報が得られます。

建築士向け総合建築情報「日経アーキテクチュア」

フードビジネス情報「日経レストラン」

薬局・薬剤師向け「日経ドラッグインフォメーション」 など

…日常生活で気になる情報も多く特集されています。



●利用方法

- ・⑦カウンターで利用票をご記入ください。1回につき60分間利用できます。
- ・1枚10円でプリントアウトができます。(カラーの場合1枚50円。印刷には制限があります。)
- ・データのダウンロードはできません。

『長岡市史双書』の刊行と「長岡市史双書を読む会」の開催 ～文書資料室だより～

『長岡市史双書』は、郷土の史料を広く市民に紹介することを目的として、平成元年に第1号が刊行されました。以来28年、最新号は55冊目を数えます。「長岡市史双書を読む会」も、回を重ねるたびに参加者が増え、今では80名を超える申し込みをいただくようになりました。毎年参加される常連の方も多く、中には市外から来られる方もいらっしゃいます。

去る7月、最新号のNo.55『江戸時代の旅と旅日記(3) 東北への旅②』をテキストに、「市史双書を読む会」(全3回)を開催しました。本書に収録した長岡藩士の探索日記「奥羽行」は、一見、東北地方の名所旧跡や歌枕の地をめぐる旅日記のように思われます。しかし、この旅には「藩命による本

来の目的」があったのです。本来の目的とは何か、それを暗示する記述は本文中に散見されます。「市史双書を読む会」では、参加者の皆さんと一緒に史料を丁寧に読み進めながら、「奥羽行」の謎に迫りました。

文書資料室では、今後も『長岡市史双書』を刊行していきます。長岡市の大切な歴史資料を後世に継承するために、市民の興味・関心をふまえ、楽しく学んでいただけるよう工夫しながら、「市史双書を読む会」も継続していきたいと考えています。さらに多くの皆さんの御参加をお待ちしています。

なお、『長岡市史双書』は文書資料室で販売していますので、お気軽にお問い合わせください。

☎0258-36-7832

(桜井奈穂子)

中央図書館所蔵資料紹介 No.150 記念帖



2014年秋号の当欄で紹介した『陳観帖』は、明治11年9月22日、明治天皇が北陸巡幸で長岡を訪れた際、展覧に供するために作られたものでした。

1年後、再びメンバーが結集し、刊行されたものがこの『記念帖』です。表紙は、縦約20cm×横約11cmとずいぶん小ぶりになりました。

まず三島億二郎による「紀念」の2文字が巻頭を飾り、次に教育者青柳剛斎の序文、そして飯島半耕の絵、山田到处の漢詩と続きます。ほかにも教育者の田中正誠・西郷蓀、絵師の片山翠谷・細貝清逸など40人以上が携わりました。

注目すべきは水沢南芳と目黒千代女という女性の参加です。名月を愛でつつ巡幸を思い返します。

わずか1年で深い感慨を表すとは、明治初期の長岡人にとって、忘れ得ぬ出来事だったからでしょうか。版元の目黒十郎は後書きで、毎年記念の会を催したいと記しています。

互尊文庫隣、緑豊かな明治公園内の石段を数段上がると、行在所(天皇の宿泊所)の跡地があります。巡幸から45年経た大正12年9月22日、ここに石碑が建立されました。

(小熊よしみ)

☆10月1日(土)から10日(月・祝)まで中央図書館のエントランスで展示します。

10月～12月 イベント



文書資料室ニュース

展 示 会 10/13 (木) ～11/13 (日)

長岡市災害復興文庫展 2016「長岡と福島・南相馬～絆の記憶と記録～」 @中央図書館 エントランス
中越大震災 12 年、東日本大震災 5 年にあわせて、長岡市民と福島県内の被災者との心の交流を、避難所資料などの記録から振り返ります。

関 連 行 事 ほか

■ **ギャラリートーク** @中央図書館 エントランス
①10/13 (木) 10:00～ ②10/23 (日) 11:00～
③11/12 (土) 14:00～ (各回約 40 分)
講師：①③文書資料室職員、②元南相馬市避難者避難所班長・宍戸晃さんほか

■ **シンポジウム「東日本大震災と熊本地震～中越大震災 12 年目のメッセージ～」第 1 部「震災アーカイブと絆の記憶」**
10/22 (土) 10:00～12:00



@長岡震災アーカイブセンターきおくみらい

講師・演題：南相馬市立中央図書館司書・高橋将人さん「非日常を振り返って～東日本大震災から 5 年、地域と図書館が考えること～」ほか
定員：80 人 (先着) 申込先：文書資料室

■ **福島県立図書館「東日本大震災 福島県復興ライブラリー」連携展示 10/1 (土) ～11/29 (火)**

@中央図書館閲覧室 (参考コーナー)

■ **『リレー講演会「災害史に学ぶ」記録誌』を再版・頒布**

平成 26 年度に市内全地域で開催した講演会の記録誌です。10/14 (金) から文書資料室、中央図書館で販売します。

【A 4 判 307 頁 価格 1,000 円】

■ **国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」トップページに中越大震災関係写真を掲載** → <http://kn.ndl.go.jp>

10/21 (金) ～11/6 (日)

市内の小中学校で撮影された記録写真です。

■ **第 18 回 図書館総合展に初出展**

11/8 (火) ～11/10 (木)

@パシフィコ横浜 (神奈川県)

全国最大・3 万人規模のイベントで、長岡市災害復興文庫を全国発信します。

《問い合わせ》文書資料室 TEL. 0258-36-7832

映 画 会

@講堂 上映 14:00～ (12/23 は下記のとおり)

10/2 (日)「シャレード」1963 年/アメリカ (113 分)

10/19 (水)「ピグマリオン」1938 年/イギリス (95 分)

11/3 (木祝)「海炭市叙景」2010 年/日本 (152 分)

11/23 (水祝)「アン・オブ」1996 年/フランス・スイス・イタリア (94 分)

12/2 (金)「ポテチ」2012 年/日本 (68 分)

12/23 (金祝) クリスマス映画会①11:00～11:30「ころわんのおはなし」「クリスマスのころわん」ほか 2008 年/日本 (30 分) ②14:00～15:20「サンタクロースになった少年」2007 年/フィンランド (80 分)

1/11 (水)「おじいさんと草原の小学校」2010 年/イギリス (103 分)



文 芸 講 演 会 11/6 (日)

私とピーターラビット～イギリス湖水地方の旅～

講師：斎藤惇夫氏 (児童文学作家)



イギリスを代表する児童文学作家ビアトリクス・ポター生誕 150 年にあわせ、ピーターラビットやイギリス湖水地方の魅力に迫ります。

◆時間：14:00～16:00 ◆申込：10/12 (水) から窓口・電話・HP で受付 ◆定員：180 人 (先着) ◆対象：高校生以上

コ ン サ ー ト 12/18 (日)

親子のための クリスマス・コンサート 2016

演奏：演奏サークルぼんぼこ弦楽四重奏団 (予定)

弦楽四重奏による演奏や、楽器・指揮体験等を、ご家族でお楽しみ下さい。

◆時間：14:00～15:15 ◆申込：11/22 (火) から窓口・電話・HP で受付 ◆定員：180 人 (先着) ◆対象：子どもと保護者 (小学生以下は保護者同伴・大人だけの参加も可)



平成 28 年 10 月 1 日

長岡市立中央図書館 奉仕係 編集・発行

〒940-940-0041 新潟県長岡市学校町 1-2-2

TEL. 0258-32-0658 mail: lib@city.nagaoka.niigata.jp